

文化祭のロゴ 住民監査請求

「県契約は高額」

市民団体「見張り番・生駒」(阪口保代表幹事)は1日、県が来秋開催する国民文化祭のロゴマークの委託制作料が高額過ぎるとして、荒井正吾知事と担当部長に計530万円の損害賠償を求める住民監査請求を行った。監査請求によると、国民文化祭実行委員会(会長として荒井知事は今年3月、ロゴ制作を東京都内のデザイン会社に540万円)で委託する随意契約を締結。市民団体側は「競争性、透明性が確保さ

れていない。他の自治体などは公募でもっと安く作っている」と主張している。

県は「監査請求の内容が確認できていないのでコメントは差し控える」としている。

【和田明美】

賞 賞

2016年(平成28年)8月2日(火曜日)

■ロゴ制作費が高額 市民ら住民監査請求

生駒市の市民団体「見張り番・生駒」(阪口保代表幹事)は1日、来年開催される「第32回国民文化祭・なら2017」のロゴマーク制作費540万円が高すぎるとして、荒井知事らに損害賠償を求める住民監査請求を行った。

県はロゴマークの制作を、熊本県のPRキャラクター「くまモン」を生んだ東京のデザイン会社に委託したが、同団体は、国民文化祭のロゴマークは一般公募で決めることが多いと指摘。公募の賞金額などから、「委託料は10万円相当が適切な金額だ」として、530万円の損害賠償を求めた。入札ではなく随意契約だったことも問題視している。

産 経 平成28年(2016年)8月2日

■国民文化祭のロゴマーク「委託料が高額」と監査請求 県が主催する「第32回国民文化祭・なら2017」のロゴマーク作成で、県が委託業者に支払った540万円は不当に高額だとして市民団体「見張り番・生駒」が1日、実行委員会長の荒井正吾知事らに計530万円を賠償するように求める住民監査請求を、県監査委員に提出した。

請求によると県は今年3月、ロゴマーク作成の委託契約を「くまモン」デザインで知られる水野学氏が代表の「グッドデザインカンパニー」(東京都)と随意契約で締結し540万円を支出。だが、他自治体などでこのロゴマークは一般公募が主流で、委託料も10万円が適切な額としている。

県の担当者は「ロゴを用いた今後の商品展開や経済波及効果を考えれば妥当な額」としている。